

令和6年度2回 栗東市立図書館協議会 議事録

- 開催日時 令和7年2月1日(土) 11:00～12:00
- 開催場所 栗東市立図書館 大会議室
- 出席者 國松完二、松浦透、三好勉、角井浩美、大屋邦代、吉川なおみ、井上和子、
終美樹、橋本香子、辻村章子
- 事務局 教育部長、図書館長、館長補佐、主査
- 欠席者 0人
- 傍聴者 0人

概要

1、開会

市民憲章唱和

会長挨拶

2、協議事項

- ① 令和6年度事業報告について
- ② 令和7年度図書館運営方針及び事業計画(案)について
- ③ その他

3、閉会

1、開会

(会長挨拶)

今日は、朝早くから、みどり号寄贈式にご出席いただきありがとうございます。

昭和51年、初代みどり号が走り始めた時は、まだ滋賀県内で図書館がほとんどない時代でした。そのころは、いわゆる公民館活動が非常に活発で、公民館活動の一環として、移動図書館は始まりました。昭和62年に図書館ができ、初代のみどり号を引き継ぎましたが、その後、財政が厳しくなり、移動図書館サービスを途中断念する時もありました。最近、また移動図書館の役割が全国的にも見直されているところです。今後もいろいろ工夫していただけたらと思います。

今日は、今年度の事業全体と来年度の事業について、みなさんからご意見をいただいて、最終的に事業計画を確定するような形で進めていけたらと思います。

2、協議事項

- ① 令和6年度事業報告について

(事務局) 「令和6年度事業報告」について説明

(委員) 西館の「学BASE」(まなベース)は、年齢制限はありますか？

(事務局) 特に年齢制限は設けておりません。平日は、日中は社会人や高齢者の方が利用され、夕方には中学生の利用があります。

(委員) 多少会話や隣同士で教えあうことなどは可能でしょうか？

(事務局) 大声を出さない範囲で、教えあったりなどもしていただけるようなスペースとして考えています。

(会長) まだ12月に作られたばかりですが、守山市は、最初は来た人順だったのが、予約制になったとのことです。予約はどうされますか？

(事務局) 基本時間制限や予約はせずに、気楽に使えるようなスペースにしたいと思っています。ただ、開館時に混乱が起こるようなことは避けたいので、土日や夏休みに開館前の待機が多い場合は、整理券を配布するなどの対応を準備しています。今のところは、通常の土日に混乱はおきておらず、あとは、夏休みの動向を見守る必要があると考えております。

(委員) 協議会に出席しているので、計画の段階から知っておりますが、一般の方にはどれくらい周知されていますか？各学校にチラシを配布されたりしておられるのでしょうか？

(事務局) 市内中学校3校と、高校2校、栗東駅にポスターの掲示をさせていただきました。また、広報りっとうやLINEでお知らせしました。

(委員) LINEで見ました。「学BASE」の席数が心配ではありますが、可能であるなら、学校だよりの方がポスター掲示よりも子ども達の目に触れるのではないかなと思います。

(事務局) 限られた席数ではありますが、掲載していただけるなら、ぜひお願いしたいと思います。

(委員) 1日に本館西館合わせてどれくらいの方が図書館を利用されますか？

(事務局) 本館西館合わせて、平日は250人、土日は400人くらいです。

(委員) 学校帰りが多いでしょうか？

(事務局) 本館は立地的に学校帰りは少ないですが、西館は「学BASE」ができてから少しずつ子どもを見かけるようになってきました。

(委員) 守山、草津の図書館に仕事の帰りに寄るということを聞いたことがあり、この時間帯の利用は多いのかなと気になりました。また、博物館との間の広場で園児や小学生が団体でお昼ごはんを食べているのを見ます。この広場を有効に使えるといいなと思います。

(事務局) 市内の小学校から博物館と図書館の両方を目的に来館し、図書館でお昼ご飯を食べるという利用も増えています。また、近くの保育園が図書館来館後、広場で遊ぶ様子も見ており、この場所全体の利用は増えています。

(会長) 広場自体は博物館が管理していますが、これからこの広場を活用していく話はないのでしょうか？

(事務局) いい場所ですので、何か活用はできないかと考えています。具体的などころまではいって

ないのですが、フードトラックにきてもらうなどのアイデアを今後検討していきたいと思っています。いろいろな世代の方にいろいろな目的で利用していただけることを目標にしたいと思います。

(委員) 建物を建ててしまうと、広場がもったいないので、子どもたちだけでなく、親も一緒に休憩できるような場所になるといいですね。

(委員) 他の地域では、例えば古本市も増えています。それぞれが古本を持ってきて、交換会を行う。そこへ、フードトラックがきて、飲食も楽しめる。図書館のそばでやれば、多くの方が来られるのではないのでしょうか。また、文芸部の子どもたちが学校で冊子を作りますが、それを紹介する場を設けるのもいいと思います。

(事務局) 皆さんのご意見・ご協力をいただきながら、試行錯誤していきたいと思っています。

(会長) ぜひいろいろ検討していただきたいと思います。

(委員) 「学 BASE」について、ポスターを学校の目立つところに掲示したり、すすめたりしています。高校生はどれくらい利用していますか？

(事務局) 1人での利用よりも、中高生はグループで利用しているのが印象的です。今まで図書館を利用していなかった子どもも利用してくれている印象です。また、親子で来られて、子どもはドリルをして、お母さんは横で本を読んでおられるという利用もあります。

(委員) 今後、テスト前や課題が出た時など、グループで「学 BASE」を利用することが増えるかもしれない。気軽に使える、ちょっと寄ろうかなという場所があるのは一番いいことで、学校図書室は土日が閉まっているので、土日だったら図書館に行こうかなと使ってもらえたらと思います。また、そこから本の利用にもつながり、生涯学習的にずっとつながっていける元となればいいなと思います。これからもよろしくお願いします。

(委員) 今日のみどり号の式典に参加し、いろいろなお話が聞けて、とてもよかったです。いろいろなご苦勞があったと思いますが、皆さんの総力を結集して、今日の式典をされたというのをひしひしと感じます。本当にみどり号ができてよかったなと思い、本好きの私たちとしては、有難い気持ちでいっぱいです。

(事務局) 幼稚園にコンテナで本を届けていたのですが、やはり、移動図書館車がほしいという思いがありました。クラウドファンディングも検討したのですが、ライオンズクラブさんがちょうど50周年記念のタイミングで移動図書館のことを耳にしてくださり、寄付をとお声をいただきました。やりたいというみんなの思いがつながって、今日にいたったと思っています。

(委員) 軽自動車で本を届け続けられたことなど、実績がなければ、実現できないことで、タイミングだけでなく、やられていたことの成果だと思います。

(委員) 幼稚園でも、みどり号が来たら、子どもたちが大興奮をしています。みどり号という名前も懐かしく感じ、みなさんの思いが詰まったものだと思います。

② 令和7年度図書館運営方針及び事業計画（案）について

（事務局）「令和7年度図書館運営方針及び事業計画（案）」について説明

（委員）週休1日になることや、移動図書館の実施などに伴い、職員の数が増やされますか？職員の仕事が増えて、大変ではないでしょうか。また、セルフ貸出機を導入されたというのは、人件費の関係でしょうか？借りる側からすると、対面で話すというのも楽しく、セルフは寂しいという気持ちもあります。ただ、急いでいる人が使ったり、子どもは自分で貸出手続きをするのが、楽しいということもあります。セルフ貸出機を置かれた理由等をお聞きしたいと思います。

（事務局）まず職員については、増員で、お認めをいただいております。ただ、今は募集をかけても、なかなか司書が集まらない状況です。その心配もある中、コロナ後、セルフレジが普及し、バーコード式のセルフ貸出機が安価に入れられるようになったことから導入いたしました。火曜開館になることで、本の貸出に限らず、「学BASE」や学校来館など、いろいろなことで図書館を使っただけできるようになりますので、勤務シフトも工夫しながらやっていきたいと思っています。引き続き、みなさんとの会話も大切にしていきたいと思っています。

（委員）司書の募集は、求人以外にどのような広報がありますか？図書館に貼るといのはどうでしょうか？司書の資格を持っているが、仕事がないという人がいて、そういった人に見てもらうために、どうしたらいいでしょうか。

（会長）最近資格をとっても、実際に公共図書館で働きたいという希望を持つ学生は、相当減っています。どこの自治体でも、資格要件を外すともっと人が来てくれるという話です。

（委員）新卒でなくても、子育てが終わって、司書の資格を持っている方がいると思うのですが…。

（委員）毎日勤務するのが難しい人が多い。でも、資格は持っているので働きたいという方もいらっしゃいます。

（事務局）毎日勤務でない場合、コンピューター操作が覚えられずに、苦勞することが多いです。資格の有無や勤務日数など、どのような募集が良いのか、今検討を始めているところです。

（会長）新しいサービスも始まりますので、今後も円滑に進めるように、人員の体制をしっかりとっていただきたいと思います。

（委員）4月から変更するサービスは発表されていますか？

（事務局）まだしておりません。議会の承認後、2月終わりから3月の始め頃に館内で広報を始めます。広報りっとうは4月号に掲載予定です。

（委員）大会議室の新しい空調設備は、今のような冷房か暖房かの設定ではなくて、細かく温度設定ができるものになるのでしょうか。

（事務局）はい、その予定です。

（委員）改修にあたり、大会議室が使えない時期はありますか？

（事務局）工事期間としては、それほど長くない予定です。ただ、金額が高額のため、市の設計から入

りますので、契約までに時間がかかる予定です。

(委員) 火曜開館というのは、非常に大きな決断だと思います。職員の配置も含め、無理のないような形で続けられるようにお願いします。

(会長) 第4次子ども読書活動推進計画の策定が入っていますが、どのような状況ですか？図書館とはどのような関係でしょうか？

(事務局) 今日からパブリックコメントの募集に入りました。生涯学習課が担当課ですが、計画策定から図書館も会議に参加し、計画の意味や必要性など、今回は特に密に連携して進めてきました。今後の計画のあり方についても、庁舎内のいろいろな課と連携を取りながら、進めていきたいと思っています。

(委員) 来年度教育方針にも連携してと書かれていますし、学校にも司書の方に来ていただいています。つながってできることが増えたらいいなと思います。中学校も朝読をしています、十分ではないところもあります。栗東市としてこういうふうにやっていくというつながりができるなと思います。計画があっても最終的には、その担当者の意図と意欲で変わるところもありますので、その辺りも含め、みんなのできるなと考えています。

(事務局) 現場の皆さんとつながれることはありがたいです。移動図書館、「学BASE」、県立高校とのつながりなど、また、協議会でのご意見も非常にありがたく思っています。これからも引き続きよろしくお願いいたします。

(委員) 移動図書館では、外国籍の子ども向けの本なども対応してもらい、ありがたかったです。これからは、相談、連携させていただきたいと思っています。

(会長) 重点事業の(3)子ども読書活動の推進のところに、移動図書館サービスのことが入っていますが、本来は、移動図書館は、全域サービスの根幹を支えるサービスと言われています。今回、子ども読書の方に入っていますが、一度検討していただければと思います。

(事務局) 以前の移動図書館には、大人の本と子どもの本を積載しておりましたが、今回は車両が小さくなりましたので、大人の本を届ける場合は本の入替が必要になります。大人の方に本を届けることも今後考えていくことが必要ですが、今回は子どもに本を届けることに特化しております。この辺りは、書き方を工夫していきたいと思っています。

(会長) 4月からは火曜日開館やサービスの拡大など始まります。ぜひ、委員の皆さんも利用いただけたらと思います。

「令和7年度図書館運営方針及び事業計画(案)」を承認

③ その他

(事務局) 「レファレンス記録」について説明

3、閉会

(部長挨拶)

早朝より、みどり号の寄贈式、そして、引き続きの協議会にご出席いただきまして、大変ありがとうございます。今年から来年度にかけて、「学 BASE」やみどり号、週休 1 日制等、積極的な方向に動いていきます。市民のみなさん、協議会委員のみなさんにもご意見をいただきながら、進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

次回

令和 7 年 9 月 6 日 (土曜日) 午前 10 時から 本館小会議室